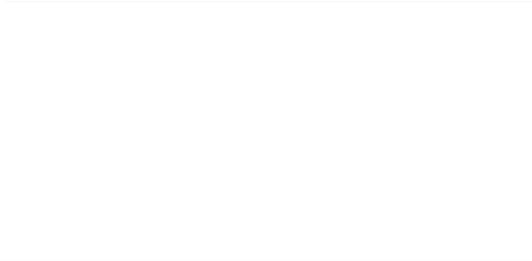


会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料	
作成日	令和6年12月1日	3tトラック、4tダンプ、8tトラック、8tユニック、10tトラック	コンプレッサー、ブレーカー、チップパー	ヘルメット、防振手袋、安全靴、安全チョッキ	加熱合材・乳剤	
改訂日		小型切削機、バックホウ	コンバインドローター、プレート60kg	保護メガネ、耳栓、防護ネット	アスファルト乳剤	
作成者	鈴木・清水		アスファルトカッター、スプレイヤー	しらすんだー受信機、消火器		
必要資格等	運転免許(普通、準中型、中型)、振動工具、ローラー、職長教育講習			作業人員	8~13名	
備考					その他	SDS安全データシート

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後		参 考 図 (写 真 等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価	
準備工	1	現場調査、使用材料の手配、施工方法・内容の確認・指示	埋設物の未確認による損傷	2	3	6	埋設物、路温計、トラカの事前確認を実施する	職長	1	1	1	【セーフティーバイブル】 ・全体編[WH-16]ケーブル防護対策 ・作業編[WO-11]飛石飛散防止用具(飛散防止網) ・作業編[WO-12]ブレーカー等高压ホース連結
	2	マニフェスト、合材プラント、廃材処理施設の確認	確認不足により施工が出来ない	1	2	2	施行前に十分に確認しておく	職長	1	1	1	
	3	規制協議、特車申請の確認	協議書、特車申請に不備がある	2	2	4	規制作業内容、特車申請書の確認	全員	1	2	2	
	4	資格証の確認	無資格作業による事故の発生	1	2	2	打合せ時に資格証を確認する	全員	1	2	2	
	5	各種施工機械、道具類の始業前、動作点検	機械の異常により施工ができない	1	2	2	点検要項にそって点検を行う	全員	1	1	1	
	6	誘導員の役割分担の確認	役割が不明確で事故をおこす	1	3	3	誘導員の作業分担、役割を明確にしておく	全員	1	2	2	
	7	服装、保安用具の点検をする	服装、保安用具の不備による事故の発生	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1	
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スベアタイヤ、敷板の落下	2	2	4	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2	
	9	積込機械の落下防止確認	回送車両台から施工機械の落下による事故の発生	1	3	3	固定器具により、しっかり固定する	全員	1	1	1	
移動	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2	 作業状況(切削)
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1	
	3	規制進入位置キロボストを明確にしておく	一般車の規制内への誤進入による追突	3	1	3	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1	
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2	
	5	施工機械の荷下ろし	架空線への接触、施工機械の転倒・転落	1	3	3	荷下ろし時、機材に作業関係者を近づけない	全員	1	2	2	
	6	規制内での移動	車両同士、または作業員との接触	2	2	4	周囲の安全確認、保安員は運転手から見える場所で誘導	保安員	1	2	2	
	7	大型廃材積込ダンプの搬入	一般車の規制内への誤進入による追突	1	3	3	指定した入口において誘導を確実にし流入させる	全員	1	2	2	
路面切削	1	ダンプを廃材積込位置へ配置する	施工機械とダンプが接触する	1	3	3	誘導の指示で合図で車両を後退させる	運転手・保安員	1	2	2	 作業状況(切削)
	2	切削機をダンプに積込む	切削機が飛散、落下し一般車に接触する	1	2	2	ダンプのサイドの飛散防止ありを確認に立てる	運転手	1	2	2	
			過積載による違反罰則	1	2	2	積載重量制限以内に積込む	運転手・オペ	1	1	1	
	3	切削作業中、ダンプの前進・停止の確実な指示	切削機が飛散、落下し通行帯へ飛び出す	1	2	2	切削機のクラクションを確実に鳴らして運転手に伝える	運転手・オペ	1	1	1	
	4	鼓の積込後、ダンプに飛散対策シートを設置する	切削機が走行中に落下し第三者被害が発生する	1	3	3	シート養生を確実に設置する	運転手・職長	1	1	1	
	5	廃材ダンプの搬出	規制内流出時に一般車と接触する	2	3	6	誘導員と運転手の打合せを行い、誘導員の合図で流出する	運転手・保安員	1	2	2	
	6	端部をブレーカーで研る	一般通行帯に背を向けて作業を行う	2	2	4	万が一の場合の回避場所、方向の確認	作業員	1	2	2	
			研り殻が飛散して通行車両にあたる	2	2	4	飛散防止網を設置して作業を行う	作業員	1	2	2	
	7	バックホウで廃材を積込む	作業員と接触する	2	3	6	作業範囲内立入禁止、周囲を十分に確認する	作業員	1	2	2	
	8	コンプレッサーにて切削面を入念に清掃する	飛散物により一般車に飛石	3	3	9	周囲の確認・本線に正対し、保安員による合図を徹底する	作業員	1	2	2	
乳剤散布	1	乳剤散布機にて乳剤を均一に塗布する	通行車両への乳剤の飛散	1	2	2	飛散防止カバーが確実に機能するか点検する	運転手	1	1	1	 作業状況(転圧)
	2	断面等の付着しにくい箇所は刷毛を使用する	接着不足による品質の低下	1	2	2	入念に乳剤を塗布して乾燥させる	作業員	1	1	1	
舗設	1	合材積込ダンプトラックの誘導・搬入	一般車両の誤侵入による接触事故	2	2	4	搬入場所の確認と確実な誘導を行う	運転手・保安員	1	1	1	 作業状況(目地注入材)
	2	搬入した合材をレーキを使用し均一に敷きならす	レーキが一般車両と接触する	2	3	6	通行帯側は作業の向きに十分注意する	作業員・保安員	1	1	1	
		敷き均し時の温度管理を行う	温度低下による品質低下	1	2	2	敷き均し温度は、出荷時から-20℃の合材は使用しない	職長	1	1	1	
転圧	1	振動ローラーを使用し規定回数十分踏み固める	締め固め不足による品質低下	1	2	2	試験舗設で確認した転圧回数を確実に実施する	オペ	1	1	1	 作業状況(目地注入材)
			作業員、保安員が施工機械に轢かれる	1	3	3	死角に入らないよう十分に注意する	オペ・作業員・保安員	1	1	1	
	2	端部はプレートコンパクターを使用して踏み固める	一般車両と接触する	1	3	3	正対作業をし、保安員を配置し緊急時はすぐに避難する	作業員・保安員	1	1	1	
	3	転圧時の温度管理を行う	温度低下による品質低下	1	2	2	転圧温度は、規定値±10℃以内とする	職長	1	1	1	
養生	1	舗装温度が下がるまで、養生を行う	開放時間が早いと舗装の完成に影響する	1	2	2	規制開放温度は、40℃以下で行う	全員	1	1	1	
	2	品質管理検査・出来型検測を行う	検測道具の通行帯への飛散	1	2	2		作業員	1	1	1	
片付け	1	路面清掃	ゴミ等が目に入る	2	1	2	保護眼鏡等を使用する	作業員	1	1	1	 作業状況(目地注入材)
			清掃不足による飛石	1	2	2	規制解放前に、十分点検する	全員	1	1	1	
	2	片付け道具類の積込	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2	
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2	
	3	切削機、舗設機械類の積込	積込時の車両からの落下	2	2	4	平坦な安全な場所で慎重に積込を行う	作業員	1	1	1	
			2	3	6	ウインチ、レバーブロック等で確実に固定を実施する	作業員	1	1	1		
			2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2		